

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

平成29年度 年度初めの挨拶

春爛漫の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年度を向かえ、皆様も別れや新たな出会いがあり、一期一会を感じながら気持ちを新たにされる事ではないかと思えます。

さて、長く続いたデフレからの脱却を目指して推進されてきたアベノミクスの「三本の矢」の政策により、経済の好循環が次第に生まれつつありますが、その効果を隅々まで波及させ、生まれ初めた好循環を更に躍進していかなければなりません。

そのような中で、平成29年度の国土交通省の基本方針は、①「被災地の復旧・復興」、②「国民の安全・安心の確保」、③「生産性向上による成長力の強化」、④「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の4つの柱が位置づけられました。

我々港湾・空港分野におきましては、「国民の安全・安心の確保」の方針の中では、南海トラフ巨大地震等の災害に対してハード・ソフトを総動員した防災・減災対策の推進、また災害発生時の人流・物流を確保するための体制の強化と、輸送ルートの確保、また今後急増していく老朽化したインフラを戦略的に維持管理していく必要があります。「生産性向上による成長力の強化」の方針の中では、人口が減少し、働き手が不足していく中で、それを上回る生産性の強化と、新たな需要の掘り起こしが求められる時代になっており、物流モーダルコネクトの強化、地域の基幹産業を支える効率化・企業活動の活性化のための港湾施設整備の推進、また、「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」にも関わることで、クルーズ誘致やクルーズ船受入環境整備の推進をしていく必要があります。

目まぐるしく変化していく時代ではございますが、地域のために微力ではございますが尽力して参りますので、本年度も変わらぬ皆様のご指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸

TOPIX

● 撫養港出張所が閉鎖されました

撫養港直轄海岸保全施設整備事業の最前線で地元調整や工事監督の拠点として平成22年に鳴門市撫養町立岩元地100-1 に設置された「撫養港出張所」については、平成28年度末を以て閉鎖されました。

今後は、小松島市にあります、小松島港湾・空港整備事務所内保全課にて、撫養港海岸保全施設整備事業完成までの現地での諸業務を引き継ぎます。撫養港から離れたところでの対応となってしまう、ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

なお、撫養港出張所に変わる今後の連絡先は以下のとおりです。

名称：小松島港湾・空港整備事務所 保全課

住所：小松島市小松島町字新港9-14

電話：0885-32-3356（代表）0885-32-3358（直通）

—小松島港湾・空港整備事務所—



INDEX▶

- 年度初めの挨拶 1
- みなとインフォメーション 2-3
小松島港湾・空港整備事務所 平成29年度事業概要
- なるほどみなと講座 4
徳島小松島港の近年の概況

小松島港湾・空港整備事務所 平成29年度事業概要

四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所では、平成29年度の主要な事業として、①港湾整備事業、②海岸保全施設整備事業、③海洋環境整備事業の三つの主要な事業に取り組んでいきます。

港湾整備事業

■ 沖洲(外)地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業(徳島港区)

徳島小松島港沖洲(外)地区では、四国で唯一の東京・北九州を結ぶフェリー航路を保有していることを強みとして、これまで課題となっていた、長距離トラックの運転手不足、フェリーの積載容量に対して貨物量が超過しており、荷物の積み残しが発生しているといった課題に対処すべく、平成21年度より、「複合一貫輸送ターミナル整備事業」に着手しました。

平成27年3月には、水深8.5mの(耐震)岸壁が完成し、平成28年1月から9月にかけて、旧船全4隻が順次大型化(総トン数11,500t→13,000t)され、11月末からは完全に新造フェリーに移行されました。

平成29年度は、港内の静穏度確保のため、防波堤150m(計画)の整備を実施していきます。また、現在整備が進められている四国横断自動車道も、平成31年度には徳島JCT-徳島東IC、翌32年度には徳島東IC-津田ICまで供用される予定となっており、陸海が一貫となって物流・人流の機能強化を図り、競争力の向上と地域の活性化を図っていきます。



■ 金磯地区 予防保全事業(小松島港区)

徳島小松島港の主要な港湾施設は、昭和40年代に整備されてきましたが、近年老朽化の影響が顕著に見受けられるようになりました。

当該事業の実施場所となる、金磯地区の岸壁(-11m)は、主に原木、砂・砕石等を取り扱っており、またお盆の阿波踊りシーズンには、例年大型クルーズ船が着岸していた施設になります。しかしながら、近年老朽化が進んでおり、既に一部のエリアにおいては、利用規制を設けながら使用していた施設です。

平成28年度より現地工事に着手したところでありますが、昨年度は3ブロックのリニューアルを終え、平成29年度は2ブロックのリニューアルを行う予定です。

また、岸壁前面の泊地において、貨物船・クルーズ船が安全に利用できるように、浚渫を行っていく予定であります。

今後急速に増加してくるインフラ施設を効率的・戦略的に維持管理し、トータルコストの縮減を図りつつ、利用者の安心・安全を確保していきます。



海岸保全施設整備事業

■ 桑島瀬戸地区 直轄海岸保全施設整備事業(撫養港)

今後30年以内に70%程度と非常に高い確率で発生が危惧されている、南海トラフを震源とする地震により、液状化による既存堤防の倒壊や沈下、津波の襲来による重要施設や貴重な財産の損失等甚大な被害の発生が懸念されています。

このため、市街地中心部を背後に持つ桑島瀬戸地区において、老朽化した既設堤防の嵩上げ・補強、基礎地盤の液状化対策として地盤改良、また陸閘・水門の新設・改良等を、平成20年度より現地着手し整備を進めてきました。平成28年3月には、鳴門市が実施されていた鳴門競艇場の完成に合わせて、先行して整備してきた競艇場前面区間(480m)を部分供用させたところであります。また、現在工事中(既存堤防の改良、陸閘の設置)の区間と既に完成している区間、併せて残り2,110mについては、平成29年のできるだけ早い時期に完成させ、早期に全区間2,590m供用開始できるよう鋭意整備を進めていきます。

また、ソフト対策と併せて強化する事で、当該地域の防災力を強化していきます。



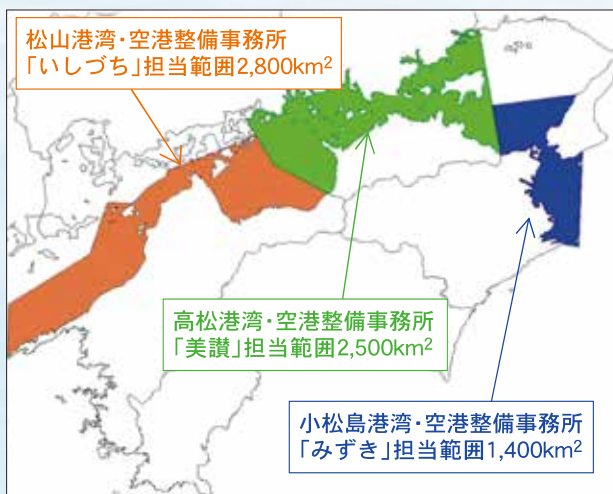
海洋環境整備事業

■ 海洋環境整備事業

海面に漂流している流木等の浮遊ゴミは船舶の安全な航行の障害となるものです。また、事故などで漏れ出した油は海洋汚染の原因ともなります。

そこで、当事務所では海面清掃兼油回収船「みずき」を保有し、海域に流入してきた浮遊ゴミの回収や船舶事故等で発生した油・有害物質をすばやく回収し、毎日の良好な海洋環境を今後も継続して維持していけるように、海域の清掃活動を努めていきます。

↓ 四国地方整備局管内の担当区域



↓ 海面清掃兼油回収船「みずき」





こまほんのなるほど!

みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまほん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としゃがみ目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

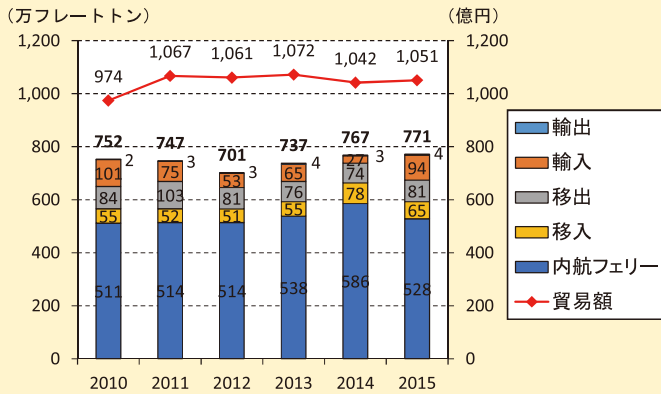
第38回 徳島小松島港の近年の概況

徳島小松島港は、徳島市と小松島市を背後地に持つ重要港湾です。

徳島市沖洲(外)地区は、水深8.5mの耐震岸壁が平成27年の12月に完成し、当該施設を利用している東九オーシャンの運航しているフェリーも4隻全てが平成28年9月までに大型化されました。

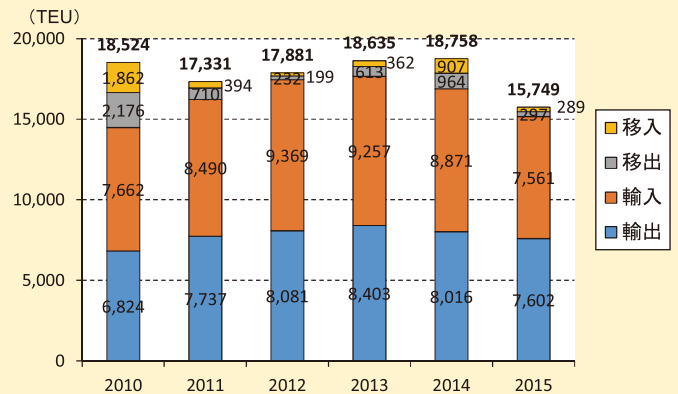
他方の、小松島市赤石地区では、平成13年に水深13m、平成18年に水深10mの岸壁が整備され、平成23年からはそれまで沖洲地区のコンテナターミナルとしての役割が、この地区に移転され、平成27年12月からは、これまでの韓国・釜山航路が、中国・大連まで延伸されました。

徳島小松島港取扱貨物量推移



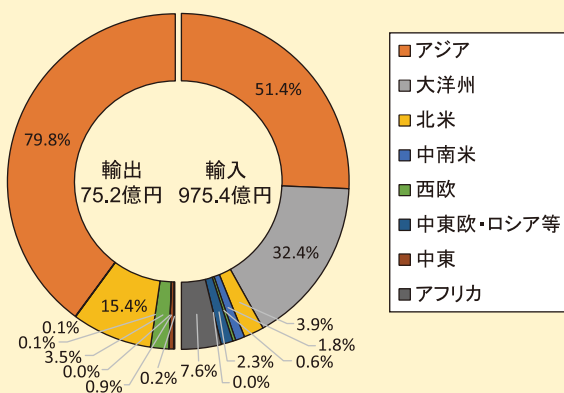
出展：貨物量は港湾統計(年報) 貿易額は貿易統計(財務省) ※貿易額には、橋港も含まれる。

徳島小松島港コンテナ取扱貨物量推移



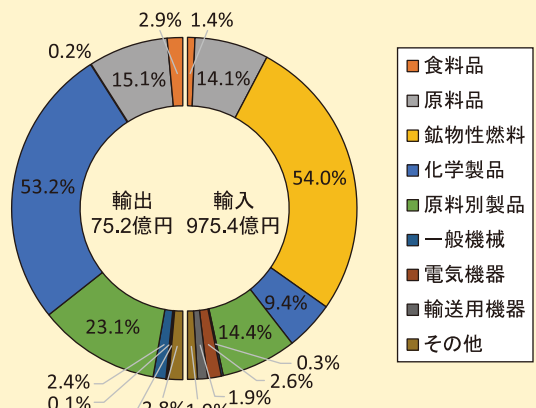
出展：貨物量は港湾統計(年報)

徳島小松島港貿易相手地域(貿易額ベース)



出展：貿易統計(財務省) (橋港も含まれる。)

徳島小松島港取扱品目(貿易額ベース)



出展：貿易統計(財務省) (橋港も含まれる。)

出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。